

研修 評価

研修名	経験型実習教育における授業展開				
領 域	看護教員研修	会場	オンライン研修	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	看護教員及び臨地実習指導者講習会修了者、現在臨地実習指導者の任にある者 募集数(60人)応募数(15人)参加数(15人)会員数(15人)非会員数(0人)				
日 時	令和7年1月21日(火曜日) 10:00 ～ 16:00				
ねらい(目標)	看護教育者の教育実践能力の向上を図るため、学生とともに創る臨地実習教育の在り方を考え授業展開ができる				
講 師	安酸 史子 日本赤十字北海道看護大学 学長				
内容・方法	○講義内容 1) ケアリングと教育 2) 指導型実習と経験型実習の指導アプローチの違い ・指導型実習 ・経験型実習 3) 学生が主体的に動く実習の方法 ・学生個々の課題を実習目標につなげる ・事例から学ぶ教材化の考え方 ・教材化に必要な看護教員の能力 ・臨床実習での教材化で学生に必要なもの ○研修方法 講義および演習				
結 果	○参加者数 15名 25% 【達成・<u>未達成</u>】 ○アンケート結果(回収率87%) ・理解度 100% 【<u>達成</u>・未達成】 ・自己課題の達成度 100% 【<u>達成</u>・未達成】 ○受講者の意見 ・事例を交えながら分かりやすい研修でした。 ・学生への関わりが分かり、実践に活かしていこうと思った。 ・教員の参加が少なくて残念だった。 ・ロールプレイを行うようなグループワークは、Zoomでは難しいと感じた。				
評価・総括	○目標達成の評価：【<u>研修会の目標は達成した</u>】・達成しなかった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：「研修のねらいと研修内容の整合性」は、「整合性があった、ほぼあった」が100%の結果で適切だった。 ・アンケート結果：全体的に評価は高かった。Zoomでのグループワークやロールプレイは難しいと意見があったが、各グループの発表はスムーズで有効な意見交換ができていたと言える。 ○総括 研修の企画内容は、整合性もあり受講者の満足度も高かったが、受講者数の減少により今年度で終了とする。				
課 題	・特になし				
担当者	教育委員				